

2020 ティーボール東南村山地区大会実施要綱

1. 主 催

山形県野球スポーツ少年団協議会東南村山支部

2. 協 力

NPO 法人日本ティーボール協会 山形県連盟

3. 開催日時

令和2年10月25日(日)までに代表2チームを決定する。

- ・A・Bブロックのトーナメントとし、ファミリードーム予選大会方式と同じく対戦チーム同士で日時・場所を調整し試合を行う。
- ・結果報告については「らくらく連絡網：県野球スポ少協議会東南村山支部」にて、勝利チームが普及委員会へ報告する事。

4. 会 場

各小学校グラウンド等(部会による会場確保は行いません)

5. チーム編成

- (1) 小学1～4年生の男女10名以上で編成されたチームとし選手の入団・未入団は不問とする。尚、10名に満たない場合は他の団との合同チームを認める。
- (2) **スポーツ保険には全選手が必ず加入すること。**
- (3) ベンチ入りは、指導者3名以内、選手登録20名以内(全員出場を原則とします)

6. 表 彰

A・Bブロックの優勝チーム(2チーム)を11月7日開催の「第14回 山形県小学生ティーボール大会」に推薦します。

推薦条件・・・11/7と11/8(予備日)両日共に大会へ出場ができるチーム
(推薦を辞退するチームがある場合は繰り上げ推薦を行う。)

7. 競技方法

3イニング制で1試合実施。

(勝敗が決まれば3回表で終了とします)

8. 競技規則

日本ティーボール協会のオフィシャル・ルールに準じますが、一部大会特別ルールを採用します。

- (1) 塁間は16mとする。(両翼は40m以内とし、ネットフェンスを設置)
- (2) 使用球は、ケンコーティーボール11インチゴムとし、グラブを使用すること。
- (3) バットは以下の物を使用する事。
 - ・全長約75cm以下、重量約550g以下のもの。※使用可能バット例を別添しますので参照ください。
(旧規格のS/Mサイズ及び新規格のS/Mサイズ相当が使用可能です)
- (4) 金属スパイクは禁止。

- (5) 競技者は10名で、全員打撃制（1イニングの攻撃で、1番打者から10番打者までが必ず打ちその得点を競う。アウト数は関係なし、最大3スイング。残塁は次回に継続する。）
- (6) 打つ前に走者が離塁すればアウト。スライディングや危険行為も原則アウトですが、できる限り「注意」にとどめ、審判が状況で判断します。
- (7) バント・軽打は禁止（ストライクと判断）、ファールも3スイングでアウト
- (8) プレーが一段落（内野か本塁にボールが帰った時）したと審判が判断した時、「タイム」が入り、ボールをティーに戻し審判の「プレイ」をもって再開する。
- (9) 上着は同色、同意匠（帽子・ズボン・スパイクは自由、ズックでも良い）が原則ですが、初参加の児童も多くこだわりません。（背番号は打順で1～10までを、ビブスカひも付きゼッケンを着用してください）
- (10) 打つ場合に軸足のステップを禁止する。球審は軸足がステップして打ったと判断した場合はファールとする。
- (11) 危険行為の禁止を徹底する。（審判が監督へ注意）
- (12) コーチャーは無しとします。またベンチ外からの選手への指示なども禁止します。
- (13) メンバー表は不要とし、試合開始の挨拶時にじゃんけんにて先攻後攻を決める。
- (14) ベンチは枠番の小さいチームが1塁側を原則とする。
- (15) 試合開始前・イニングごとのボール回しなどはせず、すぐに試合開始する。
- (16) タイムは1試合、攻撃・守備それぞれ各1回ずつとする。
- (17) ポジションの変更はタイムを取らずにプレーが開始されるまでの時間で速やかに行うこと。
- (18) 最終バッターの暴走は安全上禁止とする。ボールが内野に戻った時点で審判は「タイム」をコールしプレーを終了させる。

9. 審判員

3審制で行い、服装は他大会に順ずる。（白シャツ・黒/紺系ズボン）

審判帽はティーボール用（赤）が望ましいが無い場合は、他大会で使用の審判帽を着用すること。
尚、審判は自チームの試合を担当。

山形県野球スポーツ少年団協議会
東南村山支部普及委員会